



平成28年10月3日
内閣府（防災担当）

南海トラフ沿いの大規模地震の 予測可能性に関する調査部会 (第1回) 議事要旨

1. 日時

平成28年9月26日（月）10:00～12:00

2. 出席者

山岡座長、井出委員、長尾委員、堀委員、松澤委員
文部科学省、気象庁、国土地理院、羽深 内閣府審議官、緒方 官房審議官 他

3. 議題

- (1) 調査部会の設置と検討内容について
- (2) 調査部会報告書（平成25年公表）の改訂方針について
- (3) 平成25年以降に得られた新たな科学的知見について
- (4) 震源域で見られる現象と防災への活用を視野に入れたその評価
- (5) 南海トラフで見られる現象のモニタリング

4. 議事要旨

- 事務局から、本調査部会の設置趣旨と検討内容を説明し、了解を得た。
- 平成25年の報告書公表以降に得られた科学的知見について、事務局から説明した他、委員から以下の最新の科学的知見の情報提供をいただき、議論した。
 - ・「ゆっくり地震とプレート運動のゆらぎ 確率評価への応用可能性」（井出委員）
 - ・「地震モデルとシミュレーションから得られた科学的知見」（堀委員）
- 震源域で見られる現象の評価やモニタリングについて、各委員から、下記をはじめ、今後検討すべき事項に関する幅広いご意見をいただいた。
 - ・地震発生予測に関する現状の科学的知見
 - ・震源域で想定される現象とその現象を評価するための手法
 - ・南海トラフのモニタリングに関する現状の課題

以上